

## はじめに

首都大学東京 副学長・大学教育センター長・FD 委員会委員長



### 山下 英明

開学から 10 年余りが経過した首都大学東京は、情報社会の発展、少子高齢化、大規模災害リスクの増大といった社会を取り巻く新たな時代の課題に応える大学となるため、これまでの教育研究組織を再編成し、新たな組織体制の下で今年度をスタートしました。さらに、概ね 10 年後の 2030 年における本学のあるべき姿について議論し、その将来像として「TMU Vision 2030」を策定、昨年 11 月に公表したところです。加えて、2020 年 4 月 1 日から大学名称を「東京都立大学」に変更する手続きも進めており、世界有数の大都市である東京都が設置する総合大学として、更なるプレゼンスの向上に取り組んでおります。

このように、今年度は本学にとって大きな転換点とも言える年になりました。FD 委員会としても、この大学改革の動きの中で、教育の質を更に向上するための FD 活動を実施してまいりました。特に今年度の大きな取組の 1 つが、部局 FD セミナーの開催を推進したことです。昨年度から「実際に活用できるアクティブ・ラーニング手法紹介セミナー（以下「AL セミナー」という。）」を大学教育センターと共催し、授業や教授法の改善に取り組む教員個人を支援するためのマイクロレベルの FD 活動を始めたところですが、それとともに課題として挙げたことは、「各部局の教員間で情報を共有し、対話を行うための場が少ないのではないか」ということでした。各部局の実情や学問分野の特色等に応じた部局によるミドルレベルの FD 活動の活性化を通じて、教員間の情報共有、対話の場・機会を拡大していく必要性が議論され、今年度は FD 委員会の各委員が中心となり、自身が所属する部局単位での FD セミナーの開催に取り組み始めたところです。また、部局 FD セミナーの開催を進めるだけでなく、昨年度は全 5 回とも南大沢キャンパスで実施した AL セミナーにおいても、今年度はシステムデザイン学部（日野キャンパス）と健康福祉学部（荒川キャンパス）でも開催し、各学部の課題に沿ったテーマによる活発な議論が展開されました。さらに、今年度の首都大学東京 FD セミナーにおいては、教員個人による授業改善の取組発表だけでなく、都市環境学部観光科学科全体で取り組んでいる PBL プログラムについて紹介していただきました。各学部学科でカリキュラムの質保証について考える良いきっかけになればと願っております。

もう 1 つ、今年度新たに取り組んだことは、本学の学生相談室やダイバーシティ推進室と連携したセミナーの周知活動です。発達障がい、色弱、セクシュアル・マイノリティといった多様な学生等に対する基礎知識や配慮を学ぶ研修や講演会も広く FD 活動の一環として捉え、これらを FD 関連セミナーとして位置付け、多様なセミナーの開催を学内に広く周知し、多くの教員の参加を呼びかけました。

今後も FD 委員会では、全学的な FD セミナーや AL セミナーを企画するだけでなく、部局 FD セミナーの開催支援や、多くの FD 関連セミナーを提供する体制を整え、マクロ・ミドル・ミクロの各レベル合った FD 活動の機会や情報提供を企画したいと考えております。各レベルにおいてきめ細かい FD 活動を実施することにより、本学の教育の質が更に向上するとともに、学生が大学での学びの重要性を認識し、自ら学習に費やす時間を増やしてくれるよう、切に願っています。

(首都大学東京 FD 委員会 HP も是非ご覧ください：<http://www.comp.tmu.ac.jp/FD/>)

# クロスロード第18号

## 目次

はじめに

### I. 巻頭特集 FDセミナー開催報告

- 基調講演 ..... 4  
「インストラクショナルデザインをアクティブ・ラーニングに活かす」  
早稲田大学人間科学学術院 教授 向後 千春 氏
  
- 学内事例報告  
首都大学東京における「アクティブ・ラーニングの現状」及び  
「授業やカリキュラムの設計・改善事例」 ..... 12
  - ①「アンケート結果からみる本学のアクティブ・ラーニングの現状と  
授業改善の実践事例～基礎ゼミナールの授業設計の改善サイクル～」  
大学教育センター 准教授 近藤 伸彦
  
  - ②「多摩地域を対象とした「観光科学PBL」の実施～調査から計画提案  
に至る一貫した演習プログラムの構築～」  
都市環境学部観光科学科 准教授 岡村 祐
  
  - ③「大人数講義における授業設計とアクティブ・ラーニングの考え方」  
大学教育センター 教授 樋口 貴広

### II. セミナー・研修開催報告

- FD・SDセミナー開催報告 ..... 27
- 研修開催報告 ..... 30

### III. 授業改善アンケート実施報告

- 授業改善アンケート実施報告 ..... 37

### IV. 活動報告

- 部局FD活動報告 ..... 55
- FD委員会活動記録 ..... 65